作品説明書

2019年度土木学会デザイン賞

**1.基本情報**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 作品名 | (ふりがな)  和名 | （xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx）  xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx |
| 英名 | XXXX XXXXXXXXXX XXXXXXXX |
| （ふりがな） 所在地 | | （xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx）  xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx |
| 用　　　途 | | XXXX |
| 期間 | 設計 | 20XX年X月～20XX年X月 |
| 施工 | 20XX年X月～20XX年X月 |
| 竣工年月日 | | 20XX年X月XX日 |
| 事業費 | |  |
| 諸元 | | 面積（または延長）：XXXXX  立地環境：XXXX  主要施設（主要事業）：XXXXXX  （上記、作品諸元は記載例です。第三者への理解のために、整備内容を示す指標として適切なものを適宜ご記載ください。） |

「1.基本情報」は、選考の参考資料として使用するとともに、授賞時にはウェブページにて公開し、作品選集に記載されます。応募条件等と照らし合わせて、内容に不備がないか十分に確認いただき、適切かつ正確にご記入ください。（公開、掲載時には改めて校正は可能ですが、提出後の内容変更は原則認められませんのでご注意ください。）

**2.所在地・交通アクセス**

|  |  |
| --- | --- |
| 所在地  位置図 | 選考委員による現地審査に用いますので、所在地および現地までのアクセスについて、位置図等を用いてわかりやすく示してください。  現地審査は応募者の案内・同伴なしで行います。 |
| 交通アクセス | 選考委員による現地審査に用いますので、交通アクセス（最寄駅等）について、わかりやすくご記載ください。  現地審査は応募者の案内・同伴なしで行います。 |

「2.所在地・交通アクセス」は、選考の参考資料として使用するとともに、選考委員による現地審査に用います。現地審査は応募者の案内・同伴なしで選考委員のみで行います。選考委員が単独で現地にて実見が可能なように、応募対象の所在地、位置図、交通アクセスについてわかりやすくご記載ください。**3.事業者・設計者・施工者**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 種別 | 組織名 | 所在地 |
| 事業者 | XXX地方整備局 XXX事務所  XXX市 | XXXXXXXXX |
| 設計者 | 株式会社XXXXXXXXXXXXXX | XXXXXXXXX |
| 設計協力者 （空欄可） | 株式会社XXXXXXXXXXXXXX | XXXXXXXXX |
| 施工者 | 株式会社XXXXXXXXXXXXXX | XXXXXXXXX |
| 施工協力者 （空欄可） | 株式会社XXXXXXXXXXXXXX | XXXXXXXXX |

「3.事業者・設計者・施工者」は、選考の参考資料として使用するとともに、授賞時にはウェブページにて公開し、作品選集に記載されます。内容に不備がないか十分に確認いただき、適切かつ正確にご記入ください。（公開の可否と内容については授賞後に確認を行いますが、提出後の内容変更は原則認められませんのでご注意ください。）

【重要】

上記「事業者・設計者・施工者」は事業の基礎的な内容を示すもので、授賞対象者ではありません。次頁「4.授賞対象者」（(a)「主な関係者」、(b)「主な関係組織」）に記載された個人と組織が授賞対象者となります。

**4.授賞対象者**

【重要】

以下の「主な関係者」および「主な関係組織」が授賞対象者、授賞対象組織となります。内容、順番等、授賞後の内容変更は認められませんので、次頁「4.授賞対象者」（「主な関係者」「主な関係組織」）に関する注意事項をよく読んで、内容について十分ご確認の上、ご記入ください。

**（a）主な関係者**

（作品のデザインおよびその実現に対し中心的役割を担った人物1名以上5名程度まで※。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名  （ローマ字） | 所属 | 果たした役割  （簡潔にご記入ください） | 土木学会 会員番号 |
| XX　XX  （Xxxxx Xxxxx） | （作品の実現に関わった当時） XXXXXXXXX | □XXXXXXXXX | XXXXXXXXX |
| （現在の所属）  同上 |
| XX　XX  （Xxxxx Xxxxx） | （作品の実現に関わった当時）  XXXXXXXXX | □XXXXXXXXX  □XXXXXXXXX | XXXXXXXXX |
| （現在の所属）  同上 |
| XX　XX  （Xxxxx Xxxxx） | （作品の実現に関わった当時） XXXXXXXXX | □XXXXXXXXX  □XXXXXXXXX | 非会員 |
| （現在の所属）  同上 |
| XX　XX  （Xxxxx Xxxxx） | （作品の実現に関わった当時） XXXXXXXXX | □XXXXXXXXX  □XXXXXXXXX | 非会員 |
| （現在の所属）  同上 |
| XX　XX  （Xxxxx Xxxxx） | （作品の実現に関わった当時） XXXXXXXXX | □XXXXXXXXX  □XXXXXXXXX | XXXXXXXXX |
| （現在の所属）  同上 |

* 複合的、長期的な事業など中心的役割を果たした人物が必然的に多くなる作品についても、10名程度までを目安としてください。（授賞作品の主な関係者が10名を超える場合は、10名を超えた人数1名につき、作品選集への掲載手数料として1万円の追加徴収を行います。）

**（b）主な関係組織**（作品のデザインおよびその実現に対し貢献度の高かった組織。空欄可。）

|  |  |
| --- | --- |
| 組織名 | 果たした役割 |
| （所在地） |
| XXXXXXXXX検討委員会 | □XXXXXXXXX |
| (XXXXXXXXX) |
| XXXXXXXXX | □XXXXXXXXX |
| (XXXXXXXXX) |

**【重要】「4.授賞対象者」（「主な関係者」「主な関係組織」）に関する注意事項（お読みください）**

（本頁はご提出の必要はありません）

（１）「主な関係者」の条件について

　土木における空間デザイン、構造物デザインには調査・計画・設計・施工・管理と多様な方々が関与します。特に、長期間にわたるプロジェクトの場合、必然的に多くの人々が関与しています。優れた事業が実現するには、そうした関係者全員の努力が必要となります。しかし、どのプロジェクトでも「この人がいなければこの事業は実現しなかった」という特定の個人が存在することも事実であると思われます。そうした個人の果たした貢献には例えば以下のようなものがありますが、本賞の趣旨は、こうした個人に光を当てることを重視していますので、下記のいずれかに相当する個人を「主な関係者」として応募してください。

１）デザインへの貢献

・基本計画や予備設計時に重要なアイデア・デザインを提案する

・実施設計時に優れたデザインに予備設計を変更するアイデア・デザインを提案する

・施工時に優れたデザインに変更するアイデア・デザインを提案する

２）実現への貢献

・デザイン実現のため、関係機関との調整を行う

・デザイン実現のため、設計変更，計画変更の決断をする

・デザイン実現のための計画・設計体制を提案する

・デザイン実現のための施工方法を提案する

※ 作品のデザインおよびその実現に対し中心的役割を担った人物5名程度とし、総合的、長期的な事業など中心的役割を果たした人物が必然的に多くなる作品についても、10名程度までを目安としてください。（授賞作品の主な関係者が10名を超える場合は、作品選集への掲載手数料として1名につき1万円の追加徴収を行います。）

（２）「主な関係組織」の条件について

　「主な関係者」の条件に該当する個人がいない場合でも、ある組織の活動が事業実現に極めて大きな貢献をする場合が考えられます。

１）NPOや住民組織が重要なアイデア・デザインを提案する

２）プロジェクトのために組織された委員会がデザイン方針決定や複数プロジェクトのデザイン調整等を行うなど，通常の行政の枠組みでは実現できないような働きをする

３）その他「主な関係者」の活動を積極的にサポートする組織的な働きにより事業実現に貢献する

　本賞では作品実現に貢献した個人の働きを褒賞の対象としていますが、上記のような組織の貢献がある場合には、その存在を明示しておくことが必要だと考えます。このような組織が存在する場合には「主な関係組織」に挙げてください。

※ 上記のような組織の中で、特に貢献の大きな個人が特定できる場合には「主な関係者」に挙げてください。

※ 「主な関係組織」に該当する組織がない場合は、当該欄は空欄としてください。

（３）上記「主な関係者」および「主な関係組織」の内容、順番等、授賞後の内容変更は認められません。

（４）受賞された場合、「主な関係者」「主な関係組織」はこの申込書の順序でウェブページにて公開し、作品選集に記載されます。掲載順序は、作品のデザインおよびその実現への貢献度を考慮し十分ご検討の上、記載ください。

（５）「主な関係者」「主な関係組織」の果たした役割には、「業務発注」、「施工」といった具体の貢献が分からないキーワードは避け、作品のデザインおよびその実現への具体的な貢献が分かるように記載してください。

（６）「主な関係者」を空欄とした応募は認められません。

（７）「主な関係者」のうち土木学会員の方は会員番号、会員でない方は「非会員」と所定の欄に記入して下さい。

以上

**5.作品概要（800字以内（テキストのみ、箇条書き不可）で記入してください。）**

|  |
| --- |
| 選考の参考資料として使用するとともに、授賞時ウェブページにて公開し、作品選集に記載されます。  例えば下記の点について、箇条書きを用いずに文章によりわかりやすく作成して下さい。  ・事業内容、作品のデザインの特徴  ・作品の実現に向けた取組み、狙いや工夫  【以下記載例：土木学会デザイン賞2016最優秀賞　太田川大橋】  　太田川大橋は、広島市の湾岸部に位置する広島南道路のうち、太田川放水路の最下流部に架かる6径間の鋼・コンクリート複合アーチ橋（橋長412m）である。本橋と西部高架橋（計320m）の基本デザインは、広島市が2009年度に実施した国際コンペ「広島南道路太田川放水路橋りょうデザイン提案競技（選考委員長：篠原修東京大学名誉教授）」により最優秀案に選定されたものであり、提出した株式会社エイト日本技術開発（協力者：EAU・空間工学研究所・二井昭佳）が引き続き、詳細設計とデザイン監理を担当した。  　本橋のデザインは、瀬戸内特有の伸びやかな風景が広がる架橋地点の特徴を踏まえ、「水の都ひろしま」にふさわしい、人々の記憶に残る故郷の新しい風景の創出を目指し、①雄大な厳島を今まで以上に引き立て、共に故郷の風景として定着していく橋、②地域の人々が渡りやすく眺めを楽しめる歩道、③将来の延伸も視野に入れた太田川大橋から西部高架橋までのトータルデザインの３つのコンセプトに取り組んだものである。  　設計にあたっては橋梁全体から細部に至るまで、造形と構造とを両立させるよう一体的に検討を行った。厳島に連なる2連のアーチは、構造的にも連続させることで、風景に調和するシルエットと高い維持管理性を、橋梁本体の途中から分離した添架歩道は4種類の支持構造を使い分け、瀬戸内海の開放的な眺めと歩きやすい勾配を実現している。また様々な表情を生み出す逆台形のブレースドリブのアーチ主構や、桁下を通る歩行者のために橋梁本体に設けた楕円形の開口部、瀬戸内海を眺めながら佇める橋上広場と橋詰広場など、様々なスケールの模型を用いて丁寧に検討した結果が空間に結実できたと考えている。  　竣工して2年が経過した現在、通学する学生や散歩する地域の人たちの姿を多く見かける。本橋が両岸の地域を心理的にも結びあわせるきっかけとなり、この美しい風景の地が市民の居場所になることを願う。 |

「**5.作品概要**」は、選考の参考資料として使用するとともに、授賞時にはウェブページにて公開し、作品選集に記載されます。計画上、デザイン上、実現上の様々な狙いや工夫、配慮点等について、箇条書きを用いずに文章によりわかりやすく作成して下さい。内容の一部が「6.事業の内容」「7.デザインの内容」と重複しても構いません。（公開、掲載時には校正は可能ですが、提出後の内容変更は原則認められませんのでご注意ください。）

**6.事業の内容（応募対象について各200字以内（テキストのみ）で記載してください。）**

|  |
| --- |
| 項　目 |
| （１）事業の背景および経緯について |
| （２）実現にあたっての要請、課題、制約条件、前提条件等について |
| （３）上記（１）（２）に対して、応募対象が最も大切にしたこと（基本概念、コンセプト等） |

**7.デザインの内容（本賞の「評価の視点」を参照し、応募対象について各200字以内（テキストのみ）で記載してください。ただし、これら全てを満たすことが授賞の必要条件ではありませんので、項目を全て満たす必要はありません。）**

|  |
| --- |
| 項　目 |
| （１）《技術や造形》について |
| （２）《時間の蓄積》について |
| （３）《社会制度や仕組み》について |
| （４）《豊かな公共性》について |
| （５）《地域の生活・文化創造》について |

**8.【任意】選考委員にとくに評価して欲しい点があれば記載してください。（400字以内（テキストのみ））**

|  |
| --- |
|  |

**9.【任意】応募対象のデザイン理解のために現地審査時に選考委員に見てもらいたい周辺施設等があれば記載してください。（400字以内（テキストのみ））**

|  |
| --- |
|  |

**10.写真、図面、その他図版・資料について**

写真、図面等の画像データとその説明は、選考の参考資料として使用するとともに、授賞後の公開用にも使用します。

**（a）整備前の現場写真（整備前後がわかる写真を4点以内で提出してください）**

・複数の現場写真をひとつのファイルにせず、写真画像中にテキストは追加しないでください。

・写真は【別紙】のA4フォーマットにレイアウトして必要部数を印刷したものもご提出ください。

・必要に応じて整備後の現場写真との対応関係について画像説明で補足してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 画像ファイル名 | 画像説明  （100字以内） | クレジット表記 |
| a1\_sample.jpg |  |  |
| a2\_sample\_c.jpg |  | sample |
| a3\_sample.jpg |  |  |
| a4\_sample.jpg |  |  |

**（b）整備後の現場写真（応募対象がわかる写真を8点以内で提出してください）**

・複数の写真をひとつのファイルにせず、写真画像中にテキストは追加しないでください。

・写真は【別紙】のA4フォーマットにレイアウトして必要部数を印刷したものもご提出ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 画像ファイル名 | 画像説明※  （100字以内） | クレジット表記 |
| b1\_sample.jpg |  |  |
| b2\_sample.jpg |  |  |
| b3\_sample.jpg |  |  |
| b4\_sample.jpg |  |  |
| b5\_sample\_c.jpg |  | sample |
| b6\_sample\_c.jpg |  | sample |
| b7\_sample\_c.jpg |  | sample |
| b8\_sample\_c.jpg |  | sample |

* 画像説明では、視点場の位置などだけではなく、その写真で伝えたい作品の特徴などを加えて下さい。

|  |
| --- |
| （ファイル名を入れてください）→a1\_sample.jpg |
| （写真を入れてください） |
| （画像説明（100字以内）を入れてください） |

【別紙】現場写真（aおよびb）印刷用フォーマット（A4）

|  |
| --- |
| （ファイル名を入れてください）→a2\_sample.jpg |
| （写真を入れてください） |
| （画像説明（100字以内）を入れてください） |

**（c）図面・図版（応募対象の内容がわかる図面を5点以内で提出してください）**

・提出図面には以下の＜最低限提出して頂く図面＞が含まれていることをご確認ください。

・イメージパースや模型写真、体制図等計画に係る図版資料があれば、本項目でご提出ください。

・図面はA3サイズ片面5枚以内でレイアウトした上で、「図面・図版ファイル名」を入れて必要部数を印刷してご提出ください。縮尺は適宜設定してください。

＜最低限提出して頂く図面＞

・配置図（地形図等に応募作品の位置、対象範囲（設計範囲）を赤線枠で示したもの。）

・平面図（寸法、配置、内容がわかる資料。設計範囲を赤線枠で示したもの。）

・代表的な断面図または横断図等

・代表的な施設の詳細図または構造図等

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 図面・図版ファイル名 | 画像説明  （100字以内） | クレジット表記 |
| c1\_sample |  |  |
| c2\_sample |  |  |
| c3\_sample\_c |  | sample |
| c4\_sample\_c |  | sample |
| c5\_sample |  |  |

**（d）【任意】その他資料等（応募対象の補足説明のために必要な資料等（冊子、パンフレット等）あれば3点以内、合計12ページ以内でご提出ください。）**

・既存のパンフレット等でもA3またはA4版に統一・編集してあれば、補足資料として使用してもかまいません。

・動画の提出は認められません。

・資料の原本は必要部数ご提出ください。必要部数の手配が困難な場合は事務局へお問合せください。

|  |  |
| --- | --- |
| 資料ファイル名 | 資料内容 |
| d1\_sample |  |
| d2\_sample |  |
| d3\_sample |  |

**【重要】「10.写真、図面、その他図版・資料」に関する注意事項（お読みください）**

（本頁はご提出の必要はありません）

（１）写真画像データの取り扱いについて

　作品写真画像データは，審査会場で上映しながら審査するためのものです。また、入選された作品の写真については、選考結果の公表時や本賞の広報時に使用することがあります。応募書類データと合わせCD-RまたはUSBメディアで提出してください。

（２）「整備前の現場写真」については以下の点にご留意の上、ご提出ください。

　・整備後との比較ができるような写真（必要に応じて画像説明で補足してください）

　・計画地全体を示す写真

　・デザインのポイントとなった整備前の様子を示す写真

（３）「整備後の現場写真」については以下の点にご留意の上、ご提出ください。

　・全体像を示すような写真

　・デザインの狙いを説明するような図・写真

　・ディテールを示すような写真

（４）画像ファイルは「JPEG」形式または「PDF」形式とし、各画像ファイルのデータは2400×1800ピクセル（約300万画素）程度以上の画素数とし、容量は10MB以内としてください。スライドやプリント、印刷物からスキャンしたものでも鮮明であれば問題ありません。入選後、冊子掲載時に高解像度のものを再度依頼させていただく場合があります。

（５）各「ファイル名」は半角英数にて所定の通し番号をつけてください。ファイル名には作品名称が連想できる10字以内のアルファベットとしてください。また、ファイル形式名を示す拡張子を必ず入れてください。

（６）メディア掲載時に撮影者のクレジット表記が必要な場合には，提出画像のファイル名と「クレジット表記」を記入してください。クレジットの必要な写真のファイル名には、末尾に「\_c」をつけてください。

（７）入選した作品の関係資料（写真等）は，学会および学会が委託した関係出版者等が本賞の広報を目的に掲載、展示等を行います。この際、写真の版権料等は事務局ではお支払いできませんが、撮影者等のクレジット表示については対応します。なお、掲載・展示等について、作品関係者へその都度の連絡は行いません。ご了承ください。

以上